

第2回NAMAC個別セミナー(2020年11月25日) 開催報告

「中小企業における研究開発のススメ」

- 全国航空機クラスター・ネットワーク(NAMAC)は、今年2回目のオンラインセミナーを開催。
- 航空機サプライヤー4社からの研究開発への取り組みと、グローバル・ネットワーク協議会エキスパートからの知財管理のポイントの紹介を行った。航空機クラスター関係者約60名が参加し、独自技術を確立し、新型コロナ禍以降の事業基盤とするためのヒントを共有した。

ご挨拶



新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続く航空機産業において、中小企業における研究開発への思いと成功例、そしてその成果である知的財産を管理するポイントを紹介する本セミナーが、With コロナ～After コロナでの事業展開に向けた意欲向上に役立てばとの期待を示された。

経済産業省 航空機部品・素材産業室 室長 宮越 朗氏

航空機産業関連中小企業による研究開発の意義と成功例について

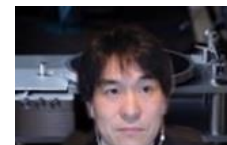
航空機の電動化―“Nakamura MAGIC”の挑戦

国の制度を活用し、精密加工技術を組み合わせることで時代のニーズに応える開発を進めてきた結果としてのオーロラフィンをはじめ、これからもクリーン製品の開発を目指す。 中村製作所株式会社 代表取締役 会長兼社長 宮原 友保氏



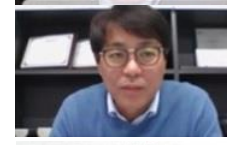
ものづくりで夢を叶える「研究開発型」町工場 ～技術磨き航空宇宙産業へ～

精密加工にAM技術を組み合わせ、超電導や宇宙機器の性能向上を果たすとともに、事業の国際展開や周辺企業との協力を推進しながら、音楽・商標などアート性の高い価値も追及。 株式会社由紀精密 代表取締役社長 大坪 正人氏



技術チャレンジに掛けるTANIDAの思い

世界が注目する精密鍛造を、3Dプリンタによる砂型で高度化。研究開発はゴールが見えなくても継続することが重要との信念に基づき、工業試験場や大学と協力して新技術に挑戦している。TANIDA株式会社 代表取締役社長 駒井 公一氏



公的機関を利用した研究開発例

東京都立産業技術研究センターの解析能力を活用し、無人機用エンジンを改良して、ドローンに適用可能とした開発例を紹介。そのほか感染防止材料等幅広い分野をカバー。 株式会社コバヤシ精密工業 代表取締役社長 小林 昌純氏



知的財産管理の重要性と心構えについて

研究開発で得た知的財産管理のポイント

人々の価値観変化や新技術発展、国際化の進展で、イノベーションに伴う知的財産のリスクマネジメントの重要性が高まっている。事業競争力の持続性を担保する特許、商標、意匠について、技術とビジネスの両面に目配りをした融合を図ることが事業機会の最大化につながる。 グローバル・ネットワーク協議会エキスパート 橋本 虎之助氏

